



略歴

大学生になるまで留学経験は一切なし。

英語が一番嫌いな教科でした…

2012年 東京工業大学 1類に入学

2018年 化学系修士として東工大を卒業

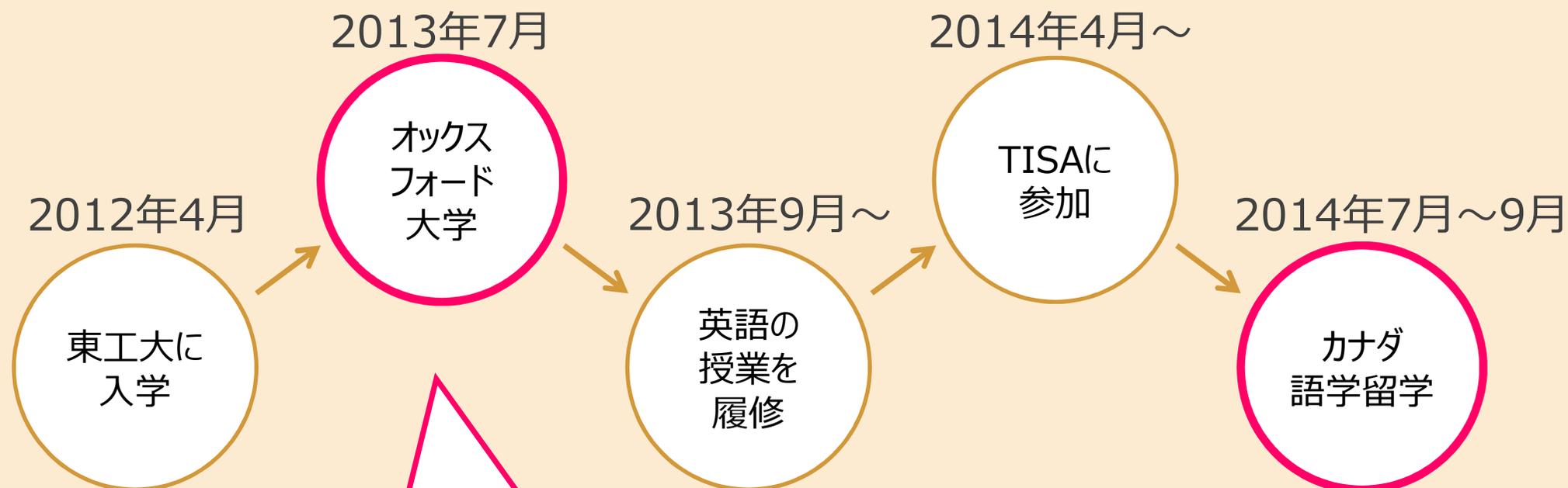
現在はアマゾンジャパン合同会社で営業職として勤務

現在の仕事内容

Amazonの出品者を対象に、販売促進の提案・サポートを行っている。営業＝コミュカのイメージがあるが、Amazonは販売に関するビッグデータを抱えているため、出品者の販売状況や商品特性、購買者特性、配送状況などデータに基づいて販促提案を行うため、半分コンサルに近い。顧客第一を掲げており、出品者の声を受けて営業からプロダクト改善提案なども行っている。

世界に無関心だった私がグローバル理工人を目指すまで（学部1～3年）

3



学部2年当時の私は**留学に一切興味なし**。
父親の強い願い（親の夢）を叶えるため
お遊び留学プログラムに参加
➡全く歯が立たず悔しい思い出に

学部3年、夏休み期間を使って**リベンジ留学**。
この時の経験がその後のグローバル意識に
大きな影響を及ぼす

オックスフォード大学短期留学プログラム @イギリス ※私費留学

4



プログラム概要

卒業高校からの紹介の私費留学プログラム。2週間のオックスフォード大学への留学をうたっていたが、ふたを開けてみれば夏季休暇中の校舎を活用した日本人向け語学留学。参加者も日本人のみ、英語レベルも低いためほぼいつも日本語で会話。現地の学生が一部交流イベントも企画してくれていたが、自分が英語ができなかったため会話にならなかった。

参加して得たもの

とりあえず行ってみたら何とかなるだろうという自分の甘さが浮き彫りに。何もできなかった自分が悔しかったのと、お金を出してもらった両親への申し訳なさを強く感じた。リベンジを決意。



バンクーバーに2か月間語学留学 @カナダ ※私費留学



プログラム概要

留学エージェントを使った私費留学プログラム。1回目の失敗を踏まえて、留学経験のある友人にも相談した上で留学先を決めた。留年しないように夏季休暇を活用。語学留学に来る学生はみんな英語レベルが自分と同じくらい。練習にはなるが、その環境にとどまっている限りネイティブの聞き取りはできるようにならない。

自分の成功要因は**現地のカナダ人と仲良くなれたこと**。道に迷ったふりをして現地の人に話しかけたり、現地のイベントに参加したりしたことで、その後現地の友人グループに入れてもらった。

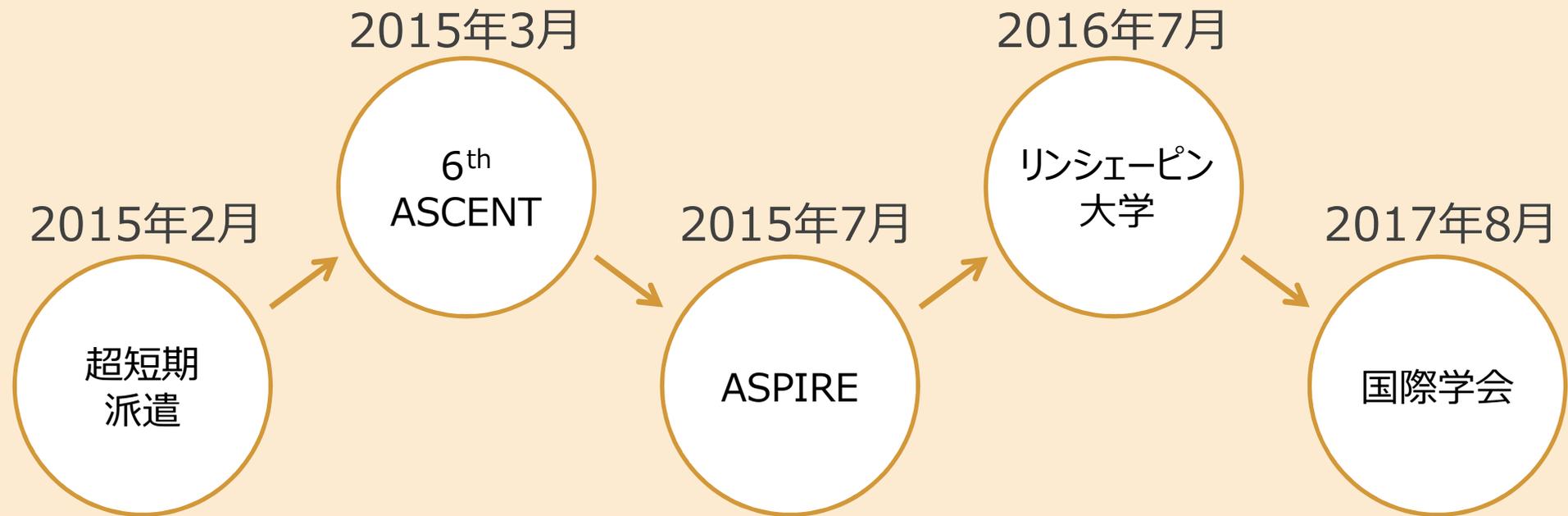
参加して得たもの

英語嫌い➡グローバル志向に
ダイバーシティの大切さ・楽しさを実感



東工大のおかげでできた留学経験（学部3年～修士2年）

6



私自身がグローバルに関心を持ち始めた時期と重なる
2014年にグローバル理工人育成コースが設立された。
その時その時の自分の語学レベル・モチベーションに合わせて
複数回留学プログラムを活用(/・ω・)/



実践型海外派遣プログラム 超短期派遣 @アメリカ西海岸



プログラム概要

世界トップレベルの大学での授業の聴講、学生交流、ラボ見学や、国際機関や現地企業の訪問を通じて、長期留学や海外でのキャリア形成に備える体験留学。スタンフォード大学・ワシントン大学の見学に加え、Amazonやその他現地の企業で活躍されている卒業生との交流など貴重な経験ができた。

参加して得たもの

ぼんやりと研究室に所属したら留学したいと思っていたが、何を目的に留学したいのか、期間や形式はどのようなタイプで留学したいかを具体的に考えられた。当時一緒に参加したメンバーはその後も留学について相談したり、一緒に別のプログラムにも参加したりできた。



6th ASCENT (Produced by SAGE) @東工大

8



← 企業見学 (東京ガス)

プログラム概要

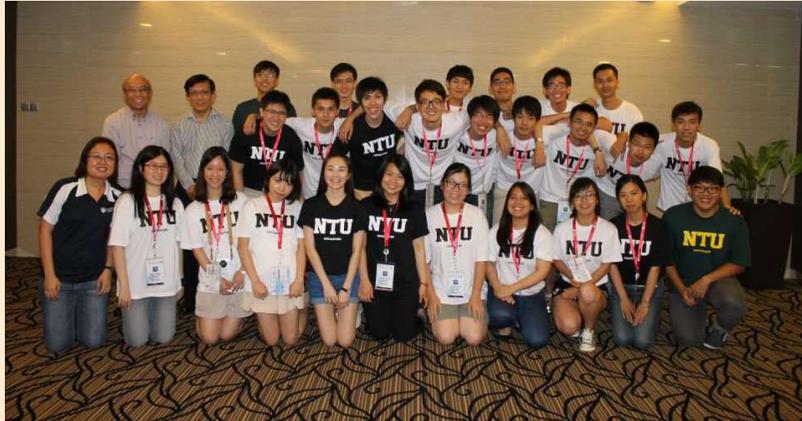
国際交流学生会SAGE (Student Association for Global Exchange) に所属する学生が企画・運営しているアジア理工系学生連携促進プログラム (Asian Students Collaboration Encouragement Program in Technology)。「エネルギーの未来像」というテーマに沿って、日本や東南アジアの抱えるエネルギー問題について議論・発表を行った。

参加して得たもの

自身が再生可能エネルギーに関連する研究室への所属を決めていたため、同じく関連するテーマに関心のあるアジアの学生と交流することができた。その後各国でreunionが開催されるほど仲良くなった。

ASPIREリーグ @シンガポール

9



プログラム概要

7月に4日程度、ASPIRE(Asian Science and Technology Pioneering Institutes of Research and Education)リーグ加盟大学にて開催されているサマープログラム。特定のテーマに関するレクチャー、施設見学、ディスカッション等の活動に参加し、加盟大学の学生との交流を通して、相互理解を深める。

この年は再生可能エネルギーがテーマであり、テーマに関連した自分の研究について発表を行う。

参加して得たもの

ASCENTと同様、エネルギー関連の研究を行う研究施設や企業を見学し、関連する研究を行っている学生とも交流できた。

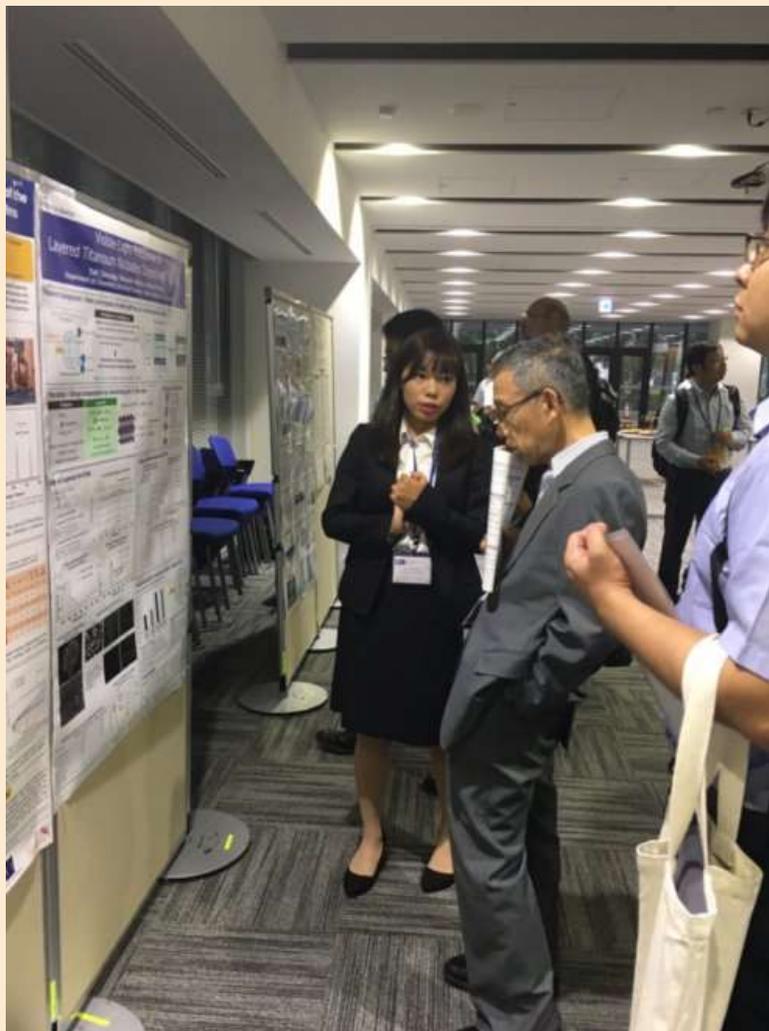


プログラム概要

リンシェーピン大学で各国の学生を集めて1か月間選んだテーマについて学ぶサマープログラム。私は「Leadership and Organisational Behaviour in Contemporary Organisations」というテーマで参加。

参加して得たもの

当時の私はTISA(Tokyo Tech International Student Association)の幹部メンバーとして、国際色豊かな組織を運営する上で何が正解なのか悩んでいたが、体系的に国際組織のマネジメント論について学ぶことで今まで理解できなかった留学生の考え方の違いを受け入れることができた。この経験が外資系企業への入社の後押しに。



プログラム概要

International Symposium on Nitridesという窒化物についての国際学会。私の研究していた素材が窒化物だったため参加することに。

参加して得たもの

ASPIREの経験や、これまでの国内学会の経験が役立ち、修士2年夏に参加したこの学会で Student Awardを受賞することができた。自分の研究が世界規模で行われる学会でも評価してもらえたことに感動。



東工大は奨学金制度など金銭面のフォローも充実しています。
私も以下のように支援していただきました。

超短期派遣

留学にかかる費用の一部を支援してもらった

ASPIRE

留学にかかる渡航費・宿泊費・施設などの費用のすべてを支援してもらった

そもそも東工大を通して申請できる留学プログラムは
一般的な留学プログラムと比較してかなり安く、
かつ私たちの専門やレベルに合わせたプログラムを用意してくれています。
※奨学金制度は一部成績も審査項目となるので、本業も忘れずに…



研究やサークル・バイトで長期間日本を離れることが難しい人でも
国内で手軽に国際交流できる機会はたくさんある！！



**SAGE Orienteering
Event**



**留学生寮の
住み込みチューター**



山田道場のd-school

そもそも東工大の学生の1割が留学生！

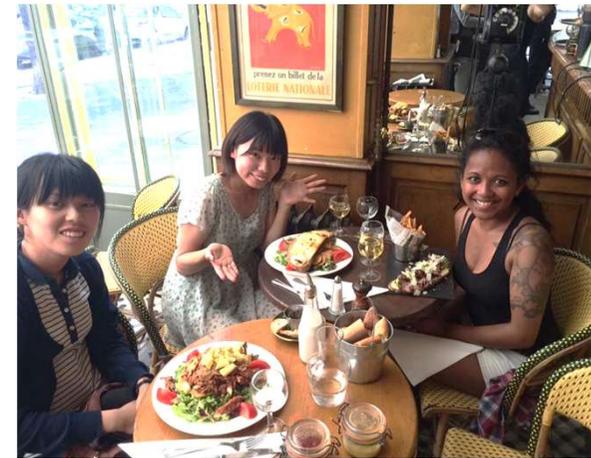
Tokyo Tech International Student Associationに参加しよう



Welcome Party

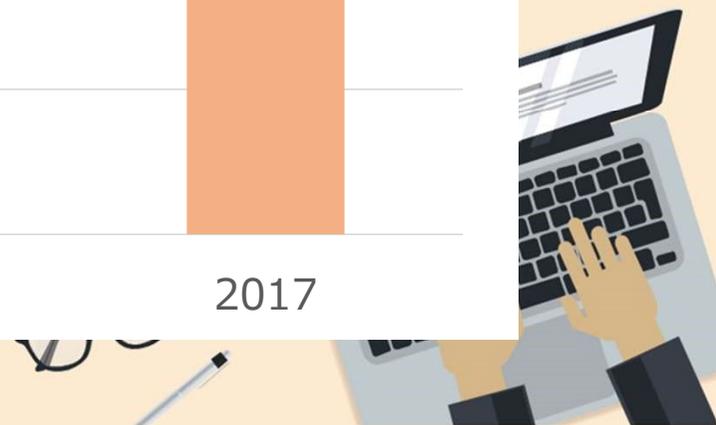
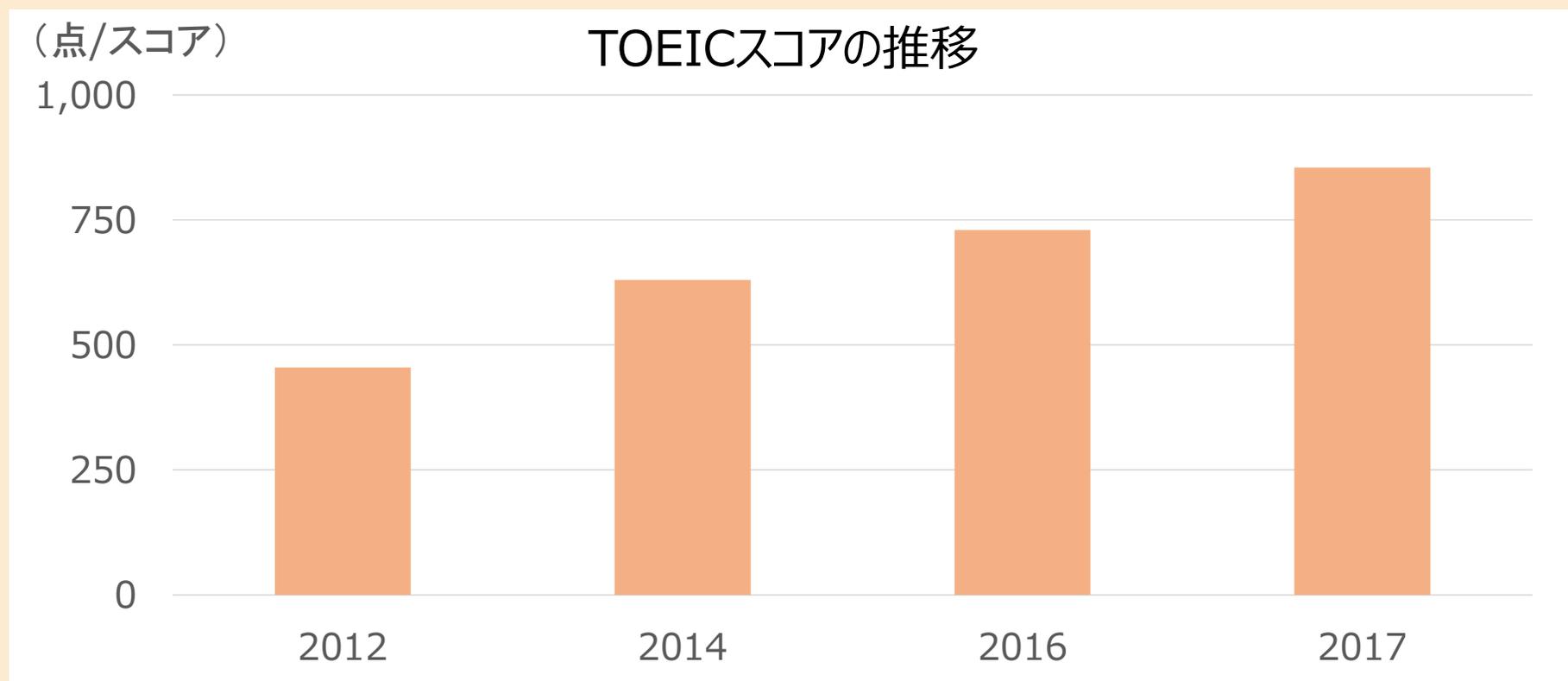


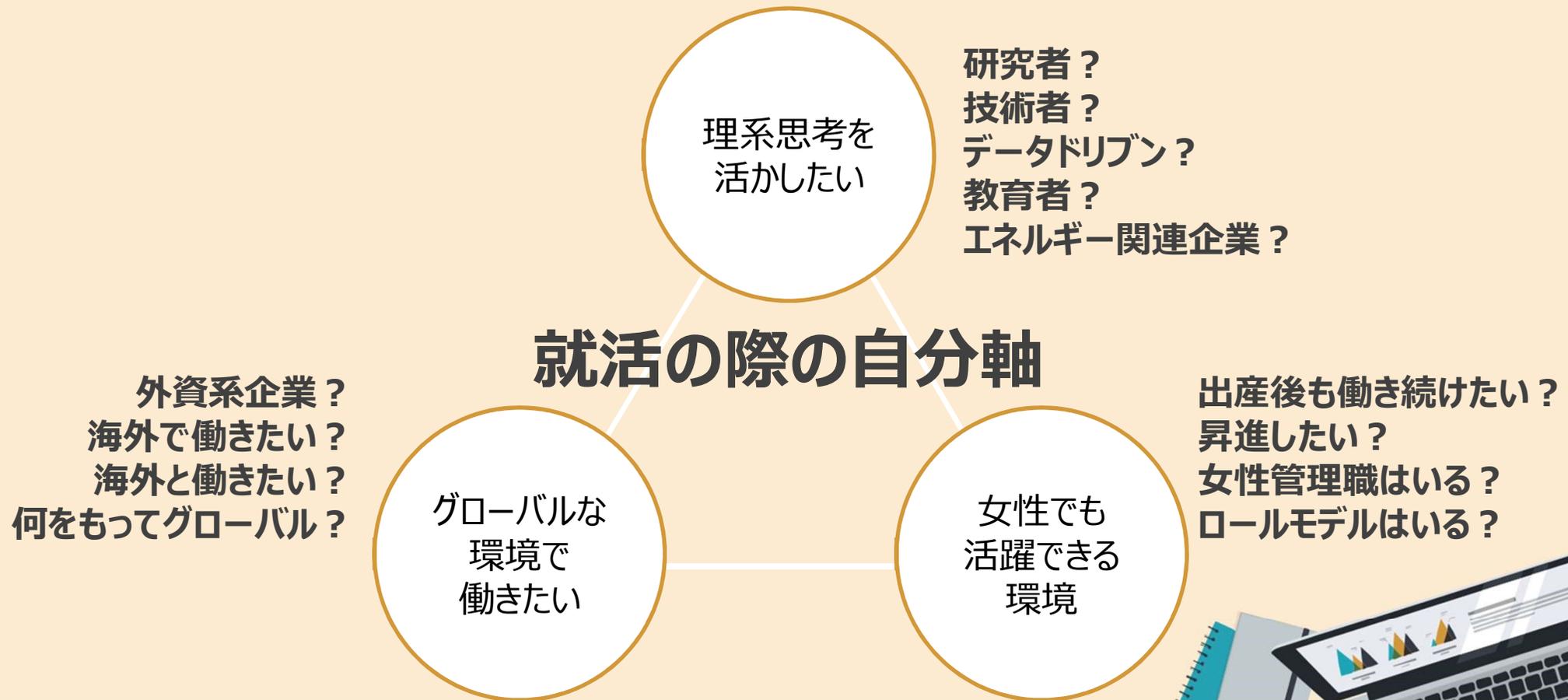
留学生たちと
ホームパーティー



留学先で
元TISAメンバーと再会

もともと大の苦手だった英語は少しずつ克服
(現在進行形で修行中です…)





自分が経験してみないと、自分のやりたいことは見えてこない
➡まずは少しでも気になるものすべてに挑戦してみよう



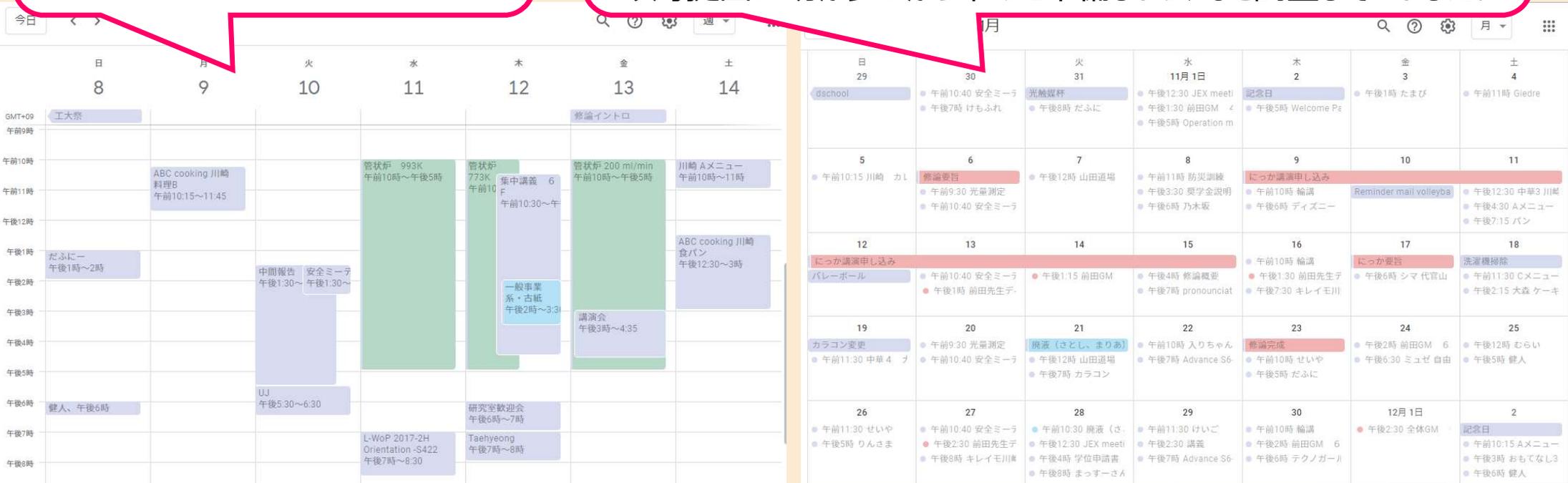
留学と勉強やその他スケジュールとの両立

理系学生はただでさえ忙しい中、留学する余裕なんてないよ～！

➡オンラインのスケジューラーを使ってミクロ・マクロでスケジュールを管理しマルチタスクに対応

分単位でスケジュールを設定することで実験の待ち時間に別の実験や授業、就活などを入れていました。

実験は緑、研究室の当番は青、レジユメなどの締め切りは赤、
 その他は紫など色分けで管理。
 色の割合で自分のタスク管理が偏っていないか？
 今月提出メ切りが多いから早めに準備しよう、など調整していました。



学生生活はあっという間です！

将来を考えるうえで、経験なしに自分で選択することは難しいと思います。
学生だからこそできること、学生でないと経験しづらいことの中の一つに
留学経験があると思います。

国際経験

留学、TISA、チューター

バイト

塾講、アパレル、
お料理教室

キャリア

キャリア講習、インターン、
スキル講習

勉強

化学の専門知識、
その他科目、教職

遊び

旅行、学生イベント、
飲み会、恋愛

...

悔いのない学生生活を過ごしてください！！

